

『UR ワカモノ応援プロジェクト』 団地再生を通して夢の実現を目指す 4 名の参加者が決定 ～ 漫画家 ギタリスト ダンサー 工芸作家 ～

UR 都市機構（独立行政法人都市再生機構）では、一流のアーティスト・クリエイターを目指す若者たちが 1 年間家賃無償で団地に住み、「団地の活性化・再生」というテーマに共に取り組むことで自身の夢の実現も目指していただく『UR ワカモノ応援プロジェクト』を新たに立ち上げ、2 月下旬～3 月下旬にかけて参加者の募集・選考を行ってまいりました。

このたび、40 名の応募の中から厳正なる審査を経て、**4 名の参加者が決定**しましたのでお知らせします。4 名の若者たちは 4 月中に UR 白鷺団地（大阪府堺市）のリノベーション住宅に引越し、団地での生活をスタートします。



<多彩な才能を持った若者たちが団地に集結>

団地での暮らしを漫画で配信したいという思いをもった漫画家志望の「**クリエイター**」、音楽イベントやギター教室の開催で地域を盛り上げていきたいと意気込む「**ギタリスト**」、作詞・振り付け・演劇・モデルなどの多彩な才能をもった「**ダンサー**」、文化財修復の経験を活かして団地の価値向上を計画する「**芸術家**」と、多彩な才能を持った 4 名の若者たちが白鷺団地に集結します。

(4 名の詳しいプロフィールは次ページをご参照ください)

<それぞれがブログや SNS を活用し、団地を舞台にしたイベントを開催>

4 名の若者は、団地暮らしの中で得られた発見や住民の方々との交流、周辺エリアの情報などを、特設ブログおよび自身の SNS アカウントで定期的に発信していきます。

住民の高齢化が進む白鷺団地の活性化を目指して、若者たちそれぞれの才能を活かしながら、団地内の集会所などを活用し、個展やライブなどのイベントを開催します。その第 1 弾として、白鷺団地住民への「お披露目イベント」を 4 月 23 日（土）に開催します。

<ワカモノ応援プロジェクト「お披露目イベント」の概要>

日時：2016 年 4 月 23 日（土）10 時 00 分～16 時 00 分 場所：白鷺団地現地集会所および集会所前

内容：本プロジェクトに関するマンガ冊子の配布もしくは展示、ライブペインティング、ライブ、ベリーダンスなどを予定

UR 都市機構はこのプロジェクトを通じて、瑞々しい感性をもったアーティスト・クリエイターの卵であるワカモノたちのサポートを得て、これまで数多くの生活文化を発信してきた**団地という場を「文化・有機的なムーブメントが多数湧き起こる活気あるステージ」として進化させていく**ことを目指しています。

【本プレスリリースに関するお問い合わせ窓口】

独立行政法人都市再生機構 西日本支社 総務部 総務チーム 伊藤

TEL : 06-6969-9008 FAX : 06-6967-0658 MAIL : s-itou04@ur-net.go.jp

<UR ワカモノ応援プロジェクト 4名の若者（参加者）のプロフィール>



宮原 リョウ（21歳／女性）クリエイター/漫画家志望

<プロフィール>

2016年3月、大原情報デザインアート専門学校漫画コースを卒業。現在は週刊少年誌の編集者と新しい漫画を制作する日々を送っている。

<プロジェクトへの参加を通じて、貢献したいこと>

漫画・イラストを作成し、定期的に個展を開催して、多くの方々に団地の魅力を発信していきたいと思っています。



ショウジ/ゼノ（21歳／男性）ギタリスト・ミュージシャン

<プロフィール>

ギター講師とバンドでの音楽活動を行うギタリスト。CDの自主制作を行うなど、積極的に音楽活動を行っている。

<プロジェクトへの参加を通じて、貢献したいこと>

バンド活動で培った企画力、行動力で団地を活性化させるイベントを開催し、その様子をSNSなどでも発信することで、他の地域の方々にも興味をもっていただく取り組みを行います。



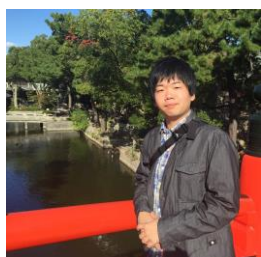
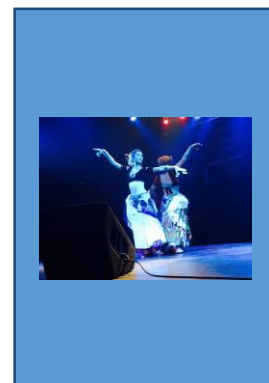
野間 佳代（23歳／女性）ダンサー・モデル

<プロフィール>

モデルコンテストで準グランプリに選ばれ、アイドルユニットで約4年間活動。現在はベリーダンスやモデルなど、多彩な活動を行っている。

<プロジェクトへの参加を通じて、貢献したいこと>

ベリーダンスなどのイベントでたくさんの方にPRできる機会もあり、そこで会えた方々に白鷺で開催するイベントにお越しいただき、白鷺団地の魅力を知ってもらえたらと考えています。



満仲 智文（23歳／男性）芸術家

<プロフィール>

仏像や大型工芸品など、文化財修復の修行を大学在学時より始める。そこで得た知識・技術を用いて工芸作家としての活動を志している。

<プロジェクトへの参加を通じて、貢献したいこと>

私の培ってきた日本の文化や技術をもって、幅広い世代へと情報発信していくことで、URの文化的価値の向上を図り、活気のある新しい団地のあり方を産み出していきたいです。

